

小倉薬剤師会 8月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。 謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、ご希望の際は、以下申込書にて必ず事前お申し込みいただきますようお願いいたします。【メール申込のみ・FAX受付不可】

なお、定員になり次第受付終了となりますのでお早目のお申し込みをおすすめいたします。

※会場に限りがありますので、ご参加は会員に限ります。

※定員に達し次第受付終了となります。終了しましたら再度お知らせいたします。

■研修認定単位取得に薬剤師免許番号が必要となりました。研修カードをご持参ください。
研修カードのない方は必ず薬剤師免許番号の写しをご持参ください。

※特別講演はweb講演となります。講師は別会場にて配信を行います。

【日時】 2021年 8月 24日 (火) 19:00～20:30

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

『胆汁酸トランスポーター阻害剤 グーフイス®錠』について

EAファーマ株式会社

【P S】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-16、③-17

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 山田 真裕

『慢性便秘治療における新たな潮流

～腸内水分調整機序の解説を主体に～』

演者 地方独立行政法人 芦屋中央病院

病院長 櫻井 俊弘 先生

<講演会要旨>

便秘は日常的によくみられる疾患であるが、慢性化することにより、QOLを著しく低下させる。その治療には長らくMg製剤や刺激性下剤が使われてきた。ただし、近年ルビプロストンやリナクロチドなどの小腸機能変容薬、胆汁酸トランスポーター阻害剤エロビキシバットにくわえポリエチレングリコールを主成分としたモビコール®配合内服剤が相次いで登場してきた。これらの薬剤はいずれも腸内の水分のコントロールを主作用としている。今回、腸内水分の調整機序の解説を主体に慢性便秘治療について概説したい。

共催：(一社)小倉薬剤師会
EAファーマ株式会社

【質疑応答】 20:15～20:30

8月24日（火）学術研修会申込書 ※定員に達し次第受付終了

申込先：kokuraph@mocha.ocn.ne.jp

メールでのお申込みに限ります（FAXでのお申込みは受付不可です）

薬局名：

会員区分：

氏名：

※ご参加が確定しましたら薬剤師会よりメールにて、その旨お知らせいたします。